

地域医療構想調整会議の議事概要

呉地域保健対策協議会

会議の実施日時	令和5年11月29日(水) 14:00~15:00 令和5年度第2回調整会議
協議事項(外来医療計画について)	
<p>○ 事務局より、10月17日に開催された「令和5年度第2回県単位の地域医療構想調整会議」の内容(「外来医療計画」部分)を説明</p> <p>○ 県から検討依頼のあった、以下の圏域での協議事項について、県のたたき台及び事務局案を説明</p> <p>○ 報告事項として、「医療機器の稼働状況の報告」について説明</p> <p>◆ 圏域での協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「地域で不足する外来医療機能」は何とするか 2 新規開業者以外の者に対しても、地域で不足する医療機能を担うよう求めるかどうか 3 「医療機器の共同利用方針」について、現行どおりでよいか <p>◆ 事務局案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「初期救急」・「在宅医療」及び「学校医」の3項目(県作成のたたき台に同じ) 2 令和6年4月1日以降検討 3 現行どおり <p>《質問・意見等》</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新規開業者以外の者に対しても、地域で不足する医療機能を担うよう求めることができるようにする。」というのは、どういったことを想定しているのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国のガイドラインで、地域で不足する医療機能を担うことを幅広く求めることができるということが示されている。 <p>(県担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同様の議論が国の「かかりつけ医機能報告制度」においても検討されており、2年後に創設されたのちに、地域で不足する機能を担うことを医療機関に要請する具体的な方策について「協議の場で検討する」ということを検討されている。県としては、こういった国の動きも踏まえながら、今後の方針について議論を重ねている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たとえば在宅医療とか学校医、そういったことを考えていただくということか。 <p>(県担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その通りである。 <p>(県地域医療構想アドバイザー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県医師会としても、地対協に「かかりつけ医機能検討専門委員会」を開催して、皆様方や厚労省の意見を聞こうとしている。また、実態調査もやっ払いこうとなっている。 <p>《協議結果》</p> <p>呉地域医療構想調整会議として、以下により県へ回答する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「地域で不足する外来医療機能」は、「初期救急」・「在宅医療」及び「学校医」の3項目とする。 2 新規開業者以外の者に対しても、地域で不足する医療機能を担うよう求めるかどうかについては、令和6年4月1日以降検討とする。 3 「医療機器の共同利用方針」については、現行どおりとする。 	
報告事項(公立病院経営強化プランについて)	
<p>○ 事務局より、公立病院経営強化プランの策定根拠等について説明</p> <p>○ 呉市福祉保健部より、公立下蒲刈病院を対象とする「呉市病院事業経営強化プラン」について中間報告</p>	

《質問・意見等》

(委員)

- ・経常損益の赤字分を上回る額の一般会計繰入金が入っている。差額はどこに行ったのか教えてほしい。

(呉市福祉保健部)

- ・一般会計繰入金は経常収益の中に含まれているため、経常損益を見ていただければいいということになる。

(委員)

- ・実際の経常損益は相当の赤字ということになる。これをどうやってプラスに持っていくのか。

(会長)

- ・経営強化プランは「呉市保健福祉審議会」にも報告されている。このプランに基づいて来年度から4年間かけて経営強化していく。経営が改善して黒字化していくかどうかについては、今後、「呉市保健福祉審議会」において示していただきたいと思う。

その他（令和4年度病床機能報告（確定値）の状況）

- 事務局より、令和4年度病床機能報告（確定値）について報告

《質問・意見等》

なし。